

引き続き、全国総合福祉車両

ります。

協議会（以下、当協議会）に加盟する事業者様による「取り組み好事例」を紹介します。

――京浜自動車協業組合様の主な事業内容について教えてください



主として行っているのは、車検・自動車整備・钣金塗装です。

本年実績は、1月から8月までの8カ月間で車検獲得台数600台以上を計上。年間平均100台超の車検実績を刻んでいます。

――車検獲得に占める福祉車両の割合は、どのくらいですか

弊社は、リース車の取り扱い台数が多く、自動車リース会社を介しカーメンテナンス全般修理を生業とする京浜自動車協業組合の大石円様にうかがいました。

した。

S S事業を営んでおりませ

んが、福祉車両事業の取り組みかけを教えていただけますか

福祉車両事業を本格的に始めたのは2017年のこと。

当時は、車椅子用リフトなど

とですか

の修理は外注していました。内  
製化したいとの思いを強めてい  
たところ、ご縁があり、当協議会  
の稻垣（利一）代表理事を紹介し  
ていただきました。2020年

のことです。

加盟会員を対象にしたメン  
テナンス研修が頻繁に開催され  
ていると知り、ぜひ参加したい  
と思いました。

実際に参加すると、現車を用  
いた実技を伴う研修が行われて  
おり、とても有益でした。

車椅子用リフトなどの機器は、  
特殊ですから、点検・整備、修理  
に関するノウハウを蓄積するに  
も相応の時間がかかります。

現車を用いた研修を通じて、  
必要な知識と専門的な技能を習  
得できるので、この研修に参加  
した整備士たちは皆、覚えるス  
ピードが早い。

壊れやすい箇所を差し示しな  
がら教えてもらえ、交換すべき  
部品についても实物を目で見て  
確かめながら作業を進めていく  
ので、整備士おののが持ち帰  
た明確な理由があつたというこ  
一一当協議会への加盟を決め



つて、その翌日からすぐに取り

組めます。

――当協議会の存在が、業務の内製化を推し進めるにあたり下支えになつてているということですね

そのとおりです。

以前は、福祉車両および福祉機器装備品の故障診断をするだけでも、四苦八苦していました。

当協議会に加盟し、ノウハウが蓄積・共有されていくうち、故障診断から原因究明までの時間は大幅に短縮されました。

当協議会のホームページ上で

は、（正会員向けに）整備事例の数々を公開しています。とても勉強になります。

――カーディーラーを窓口とした、福祉車両にかかる研修を受けられるようにすればよいとも思うのですが、いまだその

環境は整っていないようです

福祉車両の利用者らに向か、その方面のご案内はされていないのが実際のところ。それなりで、当協議会の活動がより意味を増す。

経年的にデータを蓄積し、質の高い検証とファイードバック（助言、改善点などを伝える行為）の繰り返しは、われわれ整備業を営む者たちにとって本当にありがたい。当協議会の存在を抜きにして、私どもの福祉事業は成り立たない、と言つても過言ではありません。

――福祉車両の整備を切り口に、今後さらなる事業拡大を見込んでいるのですか

車椅子リフトなどの修理がきっかけとなり、ついでに、ドライブレコーダーや自動ブレーキ装置を装着してほしいとご依頼

をいただくことは多いですね。

ただ、私どもの場合、地域の病院や介護施設が所有する福祉車両のそれについて申し受けたとして、そこからさらに、そこに勤務する職員各位のマイカーの整備需要を取り込むところまでは手が届いておりません。

他の介護施設とのやり取りで

必要になる軽自動車などをお持ちの介護施設がございまして、

そういう車両の整備・钣金をしてほしいとご依頼をいただくことはありますね。

——京浜自動車協業組合様は、

整備担当者に「福祉車両整備士」の資格を取らせていますね

　自動車整備・メンテナンス全般について、お客様に安心して任せさせていただけるように受け入れ態勢を固めています。その一環です。

福祉車両整備士の資格は、認

知が不足気味。整備業界に止まらず、世間に向けた広報活動も必要との思いを強くしています。

当協議会だからこそ、発信できることは多々あります。その辺りの事も力を注いでいただけたら、なおよし。ぜひ、お願ひします。

——承知しました。その方面の活動にも努めて参ります。

国内での少子高齢化の進行は顕著です。福祉介護ニーズは、今後ますますふくらんでいきます。

私どもでも、福祉車両の整備を事業の柱のひとつと位置づけています。この福祉車両事業を通じて、お客様に喜んでいただけるサービスを提供できるようにしていきたいと熱意を燃やしています。

――当協議会の活動で評価で  
きることについて、ほかでもござ  
りますか

受ければ、商売のヒントを得ら  
れます。

整備專業の集まりでは、あま  
り聞くことのない話題が持ち上  
がつたりもして、有意義な時間  
を過ごさせていただいています。

――福祉車両事業をもつとは  
かどらせたい、新規で立ち上げ  
たいなどと思いを馳せる事業者  
に向け、アドバイスを頂、だいで  
きますか



「年次（全国）総会」「会員大  
会」（いざれも年1回開催）へ参  
加させていただいており、意義  
を感じています。

これらの場では、業種・業界の

垣根を越え、SS事業者などの  
企業各社と交流を重ねられます。  
企業各社の取り組みから刺激も  
的です。

福祉車両の利用者のお困り  
事は、日々お使いになつている  
福祉車両にひとたび問題が起こ  
ると、それを必要としている当  
人およびそのご家族、病院や介  
護施設の職員・スタッフたちが  
すぐさま困り果ててしまうこと  
です。

とりわけ朝夕の時間帯、福祉  
車両を使えないとなると、致命

いかに短い時間・期間で福祉

一緒に頑張りましょう。

車両の修理や整備を完了させ、

一一ありがとうございました。

すみやかにお引き渡しできるか。

ここが最も重要な点です。

ディーラーに対し、福祉車両の修理や整備をお願いしたとして、1カ月以上とか、かなりの時間が要する場合がございます。

その実態がある中で、1～2日ほどのお預かりでお引き渡しえきれば、お客様はたいそう喜んでくださいます。

お客様のご要望に適切に応えていけば、事業拡大は、あとからついてくるのではないでしょうが。

当協議会が蓄積する整備データ類は貴重です。

当協議会への加盟いかんにより、事業の成否を分けると考えれば、迷いは必要ない。ぜひ加盟することをお勧めしたいですね。